

# TAKAYOSHI

## 株式会社タカヨシホールディングス

2024年9月期 第2四半期決算説明資料

2024年5月2日





# 1. 2024年9月期第2四半期 決算ハイライト

## 業績サマリー（第2四半期累計）

### 営業収益

**3,890**百万円

前年度比（増減）

**+10.5%**(+371百万円)

通期達成率

**47.5%**

### 営業利益

**502**百万円

前年度比（増減）

**△7.8%**(△42百万円)

通期達成率

**50.3%**

## 主要な経営指標（KPI）

### 流通総額

**13,479**百万円  
(前年同期比+10.4%)

### 店舗数

**176**店舗  
(前期末より10店舗増)

### 登録生産者数

**29,845**件  
(前期末より1,230件増)

## 流通総額、営業収益は過去最高 第1四半期に引続き順調に推移、2ケタ成長を継続

新型コロナの5類移行による中食需要の低下に伴い、既存店の弁当・惣菜部門の販売が減少したものの、野菜・果実の強化を進め、また、積極的な出店を継続したことで、流通総額、営業収益は2ケタ成長、過去最高の実績となる。

販管費においては、人件費やシステム投資に伴う減価償却費の増加により、利益面では前年同期を下回る結果となったものの、通期業績予想に関しては計画通りに進捗

（単位：百万円）

	2023/9期 2Q実績	2024/9期 2Q実績	変動率	通期業績予想	達成率
流通総額	12,215	13,479	+10.4%	28,600	47.1%
営業収益	3,519	3,890	+10.5%	8,200	47.5%
営業利益	545	502	△7.8%	1,000	50.3%
経常利益	536	500	△6.6%	980	51.1%
四半期純利益	283	259	△8.5%	490	52.9%

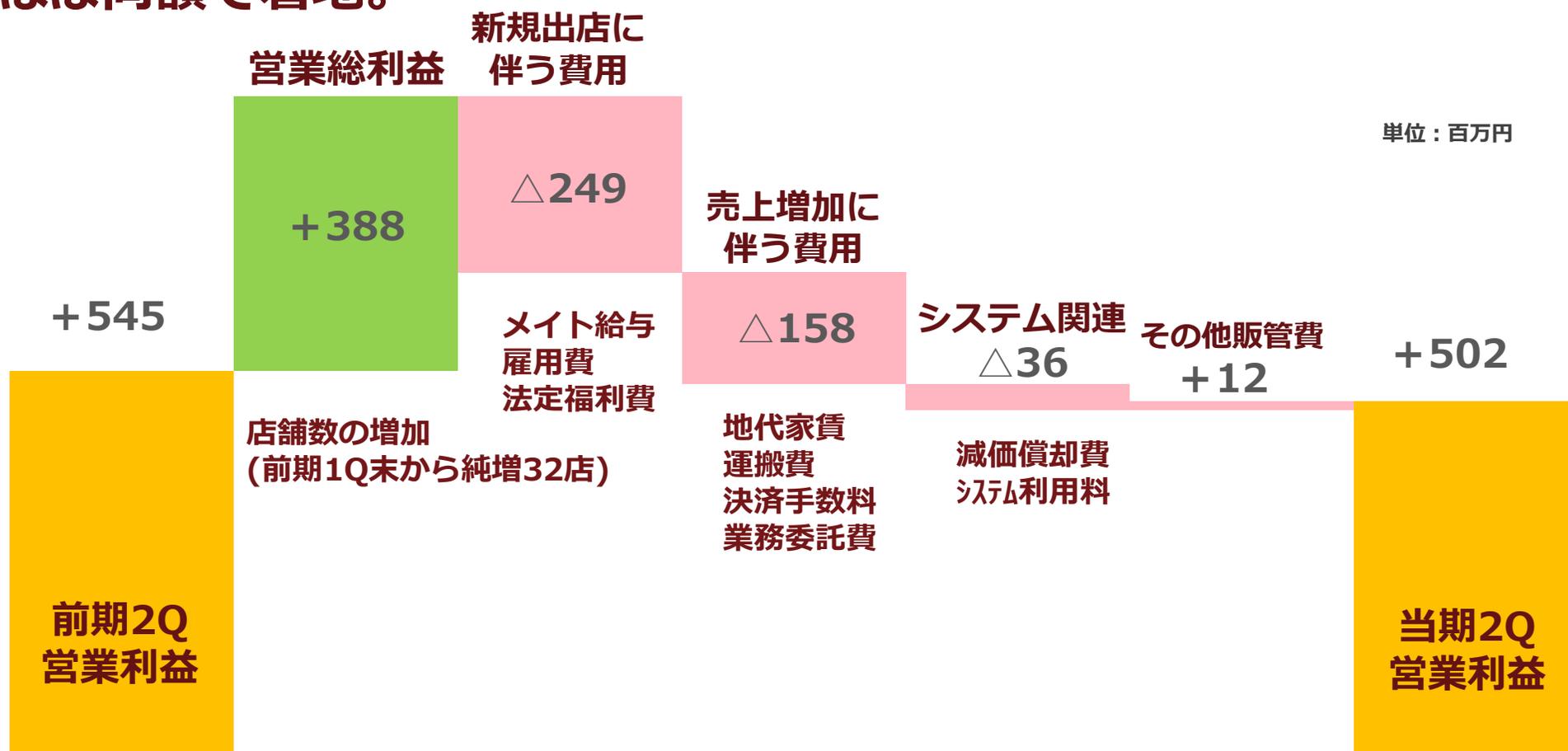
## PL前期比較

(単位：百万円)

	2023/9期 2Q実績	2024/9期 2Q実績	増減	変動率	主な理由
流通総額	12,215	13,479	+1,264	+10.4%	・店舗数の増加（前期1Q末から純増32店）
営業収益	3,519	3,890	+371	+10.5%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益	3,242	3,630	+387	+12.0%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益率 (流通総額ベース)	26.5%	26.9%	+0.4pt	-	
販管費合計	2,810	3,241	+430	+15.3%	・新店稼働による増加（人件費、店舗関係費等） ・流通総額の増加による変動費（地代家賃等）の増加 ・IT投資(基幹システム)の刷新に伴う減価償却費の増加
営業利益	545	502	△42	△7.8%	・販管費の増加
営業利益率 (流通総額ベース)	4.5%	3.7%	△0.7pt	-	
経常利益	536	500	△35	△6.6%	
税引前当期純利益	493	469	△24	△5.0%	
当期純利益	283	259	△23	△8.5%	

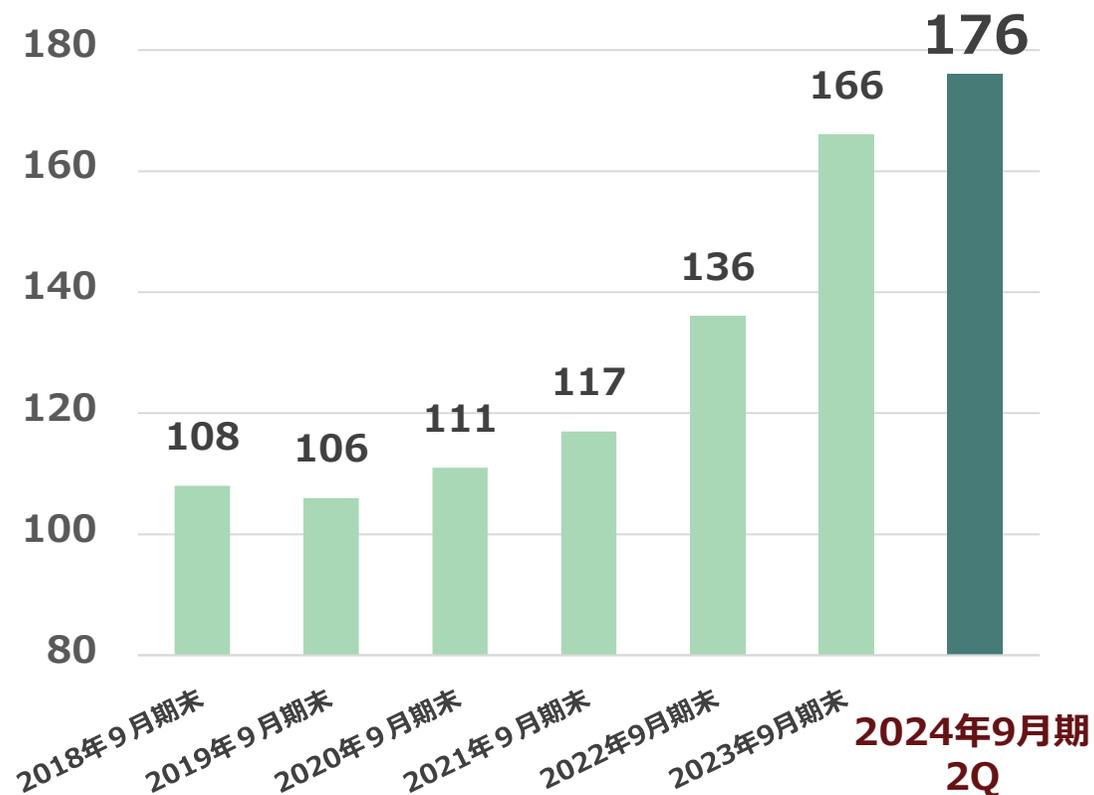
## 営業利益の増減要因

新規出店に伴うメイト給与、売上増加に伴う地代家賃、運搬費が大幅に増加。営業総利益が大きく伸び、営業利益は前期とほぼ同額で着地。



## 店舗数170店舗を突破 今期は既に15店舗出店し、今期目標30店に向け順調に増加

単位：店

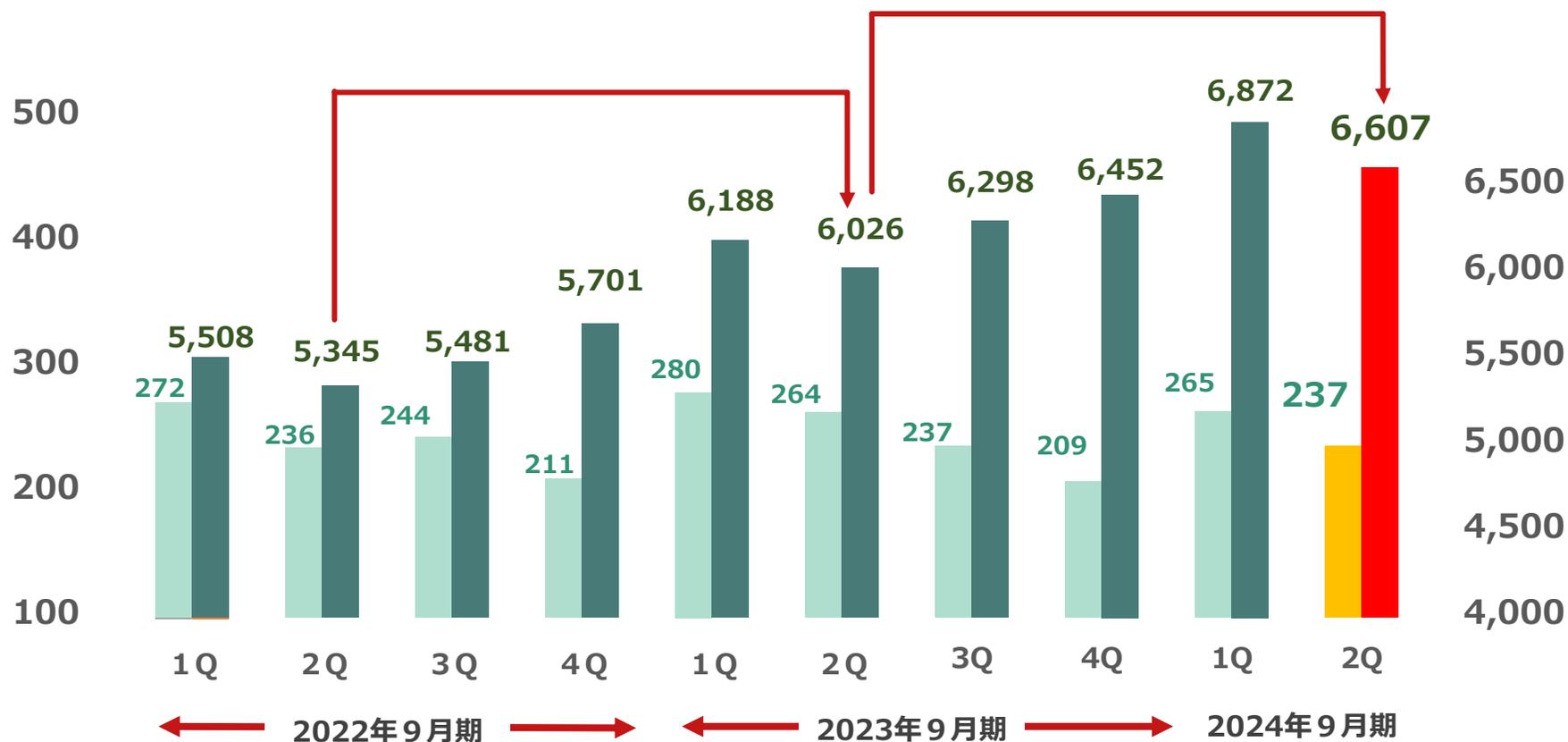


地域	当期出店数	当期閉店数	店舗数
北海道	1店舗	—	4店舗
東北地方	—	1	3店舗
関東地方	7店舗	1	105店舗
中部地方	3店舗	—	32店舗
近畿地方	3店舗	1	15店舗
中国・四国地方	—	—	6店舗
九州地方	1店舗	—	11店舗
合計	15店舗	3	176店舗

# 四半期ごとの流通総額と営業利益の推移

営業利益 (左グラフ)  
単位：百万円

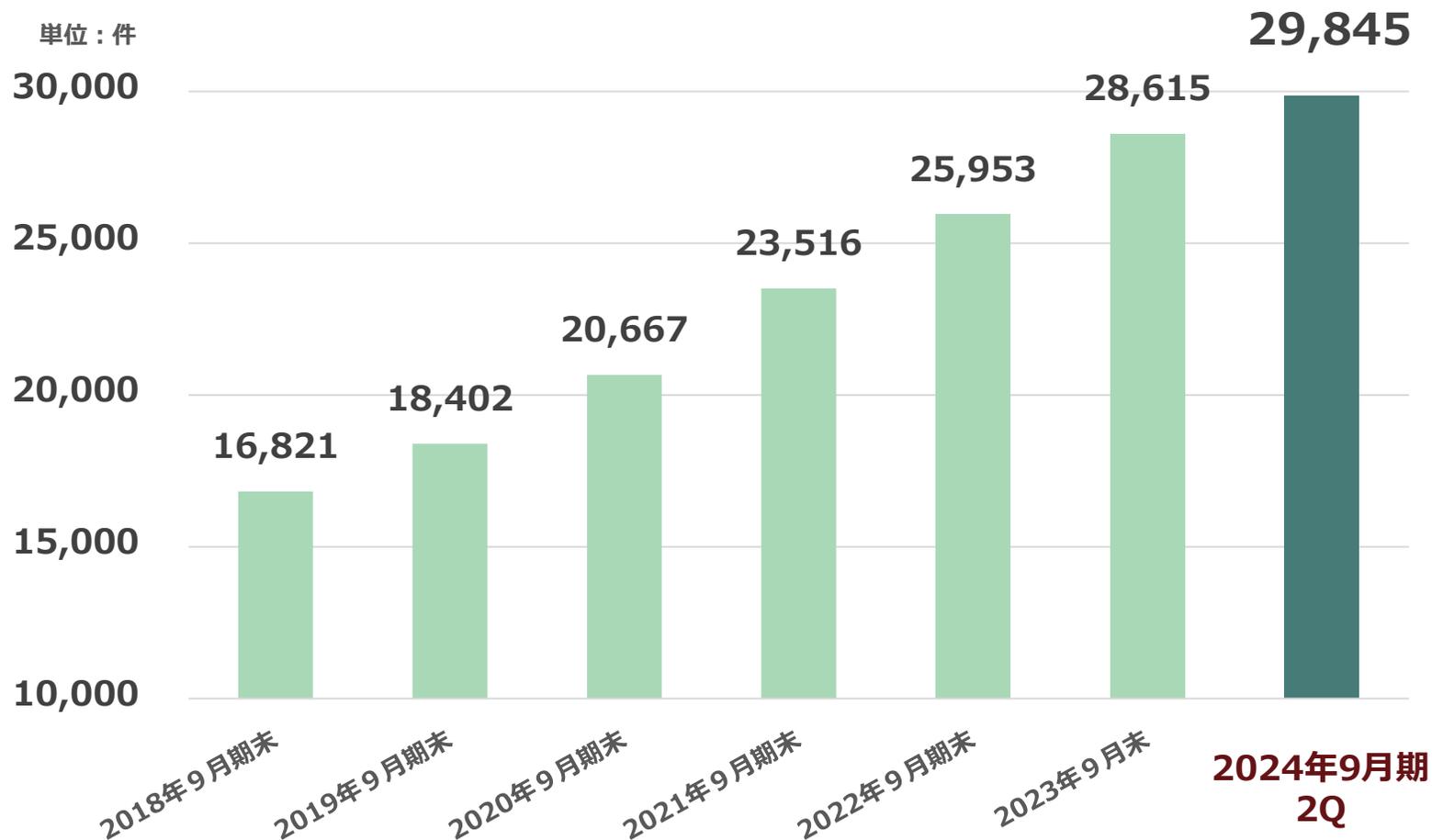
流通総額 (右グラフ)  
単位：百万円



流通総額：店舗におけるレジ通過額のほか、値札シールの販売代金や不動産賃貸収入等を含む総額の全体売上高

## 累計登録生産者数の推移

新規出店に伴う生産者開拓と並行して、  
既存店舗の追加開拓も推進し、累計登録者は3万人に迫る勢い



登録生産者数：「わくわく広場直売所会」へ登録された生産者の各期末時点の件数

## 旬の野菜・果物や、季節に合わせた店舗イベントを開催



季節の果実や加工品の販売



旬の野菜を集めた  
春のイベント開催



店舗を彩る花卉のイベント



## 都市型大型商業施設への出店

「あべのキューズモール店」3月22日（金）開店

- ・大阪府阿倍野区はキタ、ミナミに次ぐ大阪第3のターミナル
- ・これまでのモールとは異なる人口密集エリアかつ、広域からの集客が可能
- ・大阪市内の飲食店からの弁当や総菜、郊外の生産者からの新鮮な野菜・果実等が集まり順調なスタート



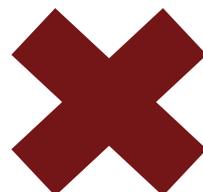
東京・日本橋に「コレド室町3店」を4月17日（水）開店

# 新たなハイブリット型店舗への挑戦 「わくわく広場」×「業務スーパー」 神戸物産とのフランチャイズ契約の締結



**わくわく広場**  
WAKUWAKU HIROBA

- ・リアル店舗型のプラットフォーム
- ・野菜・果実の鮮度へのこだわり
- ・地産地消に関するノウハウ



**神戸物産**  
**業務スーパー**

- ・自社工場での加工食品の生産
- ・冷蔵・冷凍食品のライナップ
- ・海外からの輸入食品

これまで取扱いの無かった冷凍・冷蔵食品、海外食品等の取扱い  
これまで以上に商品を選び、買うことの「わくわく」が増える

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としています。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合があります。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますので、当社として、必ずしも達成を約束するものではありませんが、事業計画を見直した場合など、記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示いたします。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料・データの無断転用はご遠慮ください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項のアップデートは各事業年度ごとに、本決算後12月頃迄を目途として開示を行う予定です。